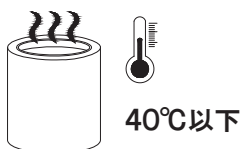


1 モエン標準施工法

1-17 補修塗装

高温保管の禁止



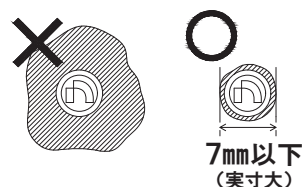
高温での保管は危険です。40℃以下の場所で保管してください。

よくかき混ぜること



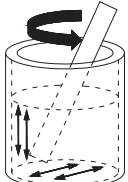
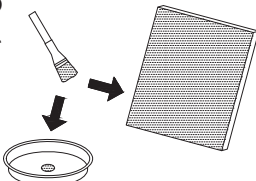

よくかき混ぜずに使用すると色が合わない場合があります。

塗り広げに注意



塗布面積はできる限り小さく、特に釘頭は7mm以内で補修してください。

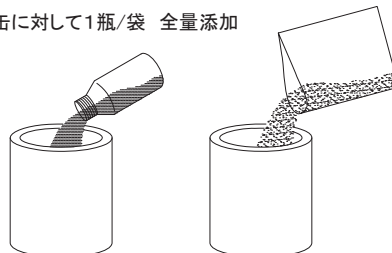
1) 補修液のご使用方法

手順	作業内容	注意事項
①事前確認	<ul style="list-style-type: none">塗装する面が十分に乾燥していることを確認してください。汚れやほこりが付着している場合は拭き取ってください。	<ul style="list-style-type: none">雨天及び外気温5℃以下の場合は作業を避けてください。
②補修液の準備	<ul style="list-style-type: none">蓋を開け、付属の攪拌棒で容器の底や側面のかたまりをとるよう、2分以上攪拌してください。 	<ul style="list-style-type: none">塗料はうすめずそのままご使用ください。市販のシンナーを混入すると、塗料が変質し性能が発揮できなくなります。絶対に使用しないでください。缶を振って泡を混入させないでください。
③試し塗り	<ul style="list-style-type: none">端材に試し塗りをし、乾燥状態の色が蓋の見本と合っていることを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none">複数色セット品は、塗布位置の面材色に合わせて色を選択してください。
④補修作業	<ul style="list-style-type: none">同梱の専用筆の筆先に塗料を含ませ、缶の縁で余分な塗料を落としてください。補修該当箇所だけに塗布し、必要以上に塗り広げないでください。  <ul style="list-style-type: none">作業を中断する場合は、蓋をしっかりと閉めて保管し、当日中に作業を完了させてください。	<ul style="list-style-type: none">釘頭や傷部に極力小さく、面材の柄に合わせた形で塗布してください。厚塗りになると艶が高くなるおそれがあります。

※「硬化剤」「添加剤」「砂」が同梱された商品は、まず主剤缶を1分以上かきまぜた後、同梱品を全量添加し、さらに2分以上かき混ぜてからご使用ください。添加後は、硬化や色変動が経時で進行しますので、高温を避け短時間で作業を完了させてください。

目安として 23℃:4時間以内 35℃:2時間以内

1缶に対して1瓶/袋 全量添加



製品の安全情報について詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。屋内で補修液を使用する場合は、特定化学物質障害予防規則に従って作業をしてください。